

(様式)
金又ハ銀

二八二(自二八三缺)
至二九〇缺

年月日	受	高	假拂高	假拂戻入高	返納高	残	高	記	事
四五	四	一	一五〇〇〇			二五〇〇〇		貨物積卸賃準備金トシテ會計課又ハ地方事務所ヨリ受入	
同	七			五〇〇〇		一〇〇〇〇		四月一旬分何某へ支拂	
同	一〇				五〇〇〇	一五〇〇〇		四月一旬分ニ對スル積卸賃第何號ニテ受入ニ付假拂ニ戻入	
同	一四			五〇〇〇		一〇〇〇〇		四月二旬分何某へ支拂	
同	一四				一〇〇〇〇	〇		會計課へ返納	
同	一五	五〇〇				五〇〇		釣銭トシテ受入	

注意

- 一 假拂トハ貨物積卸賃等ヲ支拂ヒタルモノヲ謂フ
- 二 假拂戻入高トハ積卸賃等ヲ正當證書ニ依リ受入レタルモノヲ謂フ
- 三 返納高トハ準備金必要ナキヲ認メ返納セシ場合ヲ謂フ
- 四 金銀ノ口座ヲ設ケ整理スルコト
- 五 釣銭ハ假拂高又ハ假拂戻入高欄ニ關係ナシ

第二節 收 納

○新ニ鐵道運輸營業ヲ開始シタル線ニ於ケル該線ノ假營業ニ關スル

運送報告書類及現金處理方 (昭和一二、六) (鐵總經會甲第二四號)

(規定類纂第二編第八類第二章一般取扱参照)

○驛其ノ他ニ於ケル營業收入金ニ不足金發生又ハ不良貨幣發見ノ場

合ニ於ケル處理方 (昭和一五、六) (鐵總經一甲第四號)

驛其ノ他ニ於ケル營業收入金ニ不足金發生又ハ不良貨幣發見ノ場合ニ於ケル處理方左ノ通制定ス

營業收入金ノ不足金竝不良貨幣處理方

- 一 驛、列車區(旅客專務及車掌ニ於テ取扱ヒタル收入金)、自動車營業所、同停留所、埠頭、船舶、旅館、食堂營業所、同支所及旅客竝荷物取扱所(以下驛所ト稱ス)ニ於ケル收入金ニ不足金發生又ハ不良貨幣ヲ發見シタル場合當該驛所長ハ當務者ヲシテ其ノ不足額ヲ辨納セシメ其ノ金額及當務者職氏名ヲ營業收入帳表類様式及取扱規程所定ニ依リ報告スベシ但シ即時辨納シ能ハザル場合ハ當該驛所長ニ於テ一箇月以内ニ限り未收金トシテ取扱フコトヲ得、若シ同期間内ニ整理シ得ザル場合ハ其ノ事情ヲ所管鐵道局長(旅館、食堂營業所、同支所ニ在リテハ鐵道總局長)、埠頭局長及江運局長(以下鐵道局長ト稱ス)ニ具申スベシ

二 前號但書ニ依リ未收金トシテ取扱ハントスル場合ハ不足ヲ生ジタル科目ハ正當ニ收入スベキ額ニテ整理シ其ノ不足額ハ未收金(科目ハ當該未收金、雜口)トシ不足發生月日、金額及當務者職氏名ヲ營業收入帳表類様式及取扱規程所定帳表ヲ以テ之ヲ報告スベシ

三 第一號ノ場合當該驛所長ハ遲滞ナク其ノ詳細ナル顛末ヲ所管鐵道局長ニ報告スベシ
前項ノ報告ハ金錢出納規程第十八條ニ依リ經理部長ニ經伺又ハ報告ヲ要スルモノニ在リテハ當該書類ノ寫ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

四 第一號不足金發生ノ爲辨納報告ヲ爲シタル後其ノ過納ナリシコトヲ發見シタル場合ハ所管鐵道局長ノ承認ヲ經テ辨納者へ拂戻ヲ爲スコトヲ得

○當社收入各種貨幣相場電信符號 (昭和一〇、一二) (經會甲第三號)

改正 昭和一六、二經會甲第三號

當社收入各種貨幣相場電信符號左ノ通制定シ昭和十年十二月十日ヨリ之ヲ施行ス
當社收入各種貨幣相場電信符號

- イ 滿洲國國幣
- ロ 大連正金銀行票
- ハ 北平、天津、青島正金銀行票
- ニ 英 貨
- ホ 米 貨

ハ 蒙疆銀行券

○社員未收金取立方 (大正一三、一二) (經會甲第三號)

社員未收金取立方左ノ通定メ大正十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

- 一 社員未收金ハ迅速ニ之ヲ取立ヲ勵行スルコト
- 二 社員未收金(過誤拂ニ依リ生ジタル社員未收金ヲ除ク)ニ對シテハ左ノ率ニ依リ利息ヲ徵收スルコト
金百圓ニ付 日歩金二錢五厘
- 三 旅費假拂金及留學費等ニシテ精算ノ結果過拂金ヲ生ジタルトキハ精算ト同時ニ全額ヲ戻入セシムベシ若本人即時戻入ヲ爲シ能ハザル事情アルトキハ其ノ理由及償還方法ヲ具申セシメ遲滞ナク社員未收金ニ振替整理スルコト
前項社員未收金ニ對シテハ所定ノ旅費精算期間(普通出張ハ旅行終了後十日、外國出張及留學ハ歸任後一箇月)經過後三十日目ヨリ起算シ償還當日迄利息ヲ徵收スルコト但シ所定ノ旅費精算期間内ニ精算ヲ怠リタルトキハ所定ノ旅費精算期間經過ノ翌日ヲ以テ利息起算日トス
- 三ノ二 前項以外ノ社員未收金ニ對シテハ會社方立替拂ヲ爲シタル當日ヨリ四十一日目ヲ以テ利息起算日ト定ム
- 四 社員未收金ノ一部償還ノ場合利息ハ其ノ都度償還當日迄ノ分ヲ納入セシムルコト
- 五 收納シタル利息ハ利息收入、雜利息未收金利息ヲ以テ整理スベキコト

○社員未收金利息徵收ニ關スル件 (大正一三、一二) (經會乙第三三號)

大正十三年九月經會甲第三十二號社員未收金取立方中「過誤拂ニ依リ生ジタル社員未收金ヲ除ク」トハ俸給、給料及諸

手當等概算拂ニ非ザル支拂ニ對シ會社機關ノ誤拂ニ依リ返納ヲ命ジタルトキ一時ニ戻入ヲ爲ス能ハザル事情アリテ社員未收金ニ整理シタル場合利息ノ徵收ヲ免除スル儀ナリト承知相成度

○社員ノ不正行爲ニ依リ社損金ヲ生ゼシメタル場合金利徵收 (昭和五、一) (經會甲第五號)

自今社員ノ不正行爲ニ依リ會社ニ金錢上ノ損害ヲ被ラシメタルトキハ該損害金ニ對シ不正行爲日ヨリ辨償當日迄金百圓ニ付日歩金二錢五厘ノ金利ヲ徵收スルモノトス

○社員ニ對スル債權ヲ諸給與金ト相殺取立方 (昭和一七、三) (經會甲第六號)

社員ニ對スル債權ニシテ諸給與金ト相殺スベキモノ(旅費假拂清算ノ場合ヲ除ク)ノ取立方ハ左ニ依ルモノトス
 一 取立要求箇所ハ直接當該社員ノ所屬給與箇所へ取立要求書ヲ送付スルコト
 二 給與箇所長ハ諸給與金ノ支拂傳票ニ科目別ニ依ル別記様式ニ依リ給與金引去内譯書ヲ作成添付スルコト
 三 金錢出納箇所ハ諸給與金ノ支拂ニ當リ前號ノ内譯書ニ依リ取立金額ヲ相殺シ當該科目ノ收納傳票ヲ發行スルコト
 四 社員ニ對スル左ノ各號ノ債權ハ當分ノ間會社債權ノ取立ニ準ジ所轄金錢出納箇所ニ於テ給與金ヨリ控除支拂ヲ爲スコト

- 1 生計組合配給品代
- 2 大連醫院診療料金
- 3 南滿洲瓦斯株式會社瓦斯料金
- 4 滿洲電業株式會社電氣料金

5 其ノ他會社ニ於テ認メタルモノノ様式

電(社公) 番 作成者

給與金引去内譯書

傳票件數 箇所名 御中 昭和 年 月 日 拂

給與金合計額		引去金合計額		差引現金拂渡額	
科目	種別	金額	科目	種別	金額
身保、身保、經會	元金	円			円
社貯、當貯()	社員貯金				
共濟、共濟(同仁)	共濟(同仁)				
同	立替金				
同	融通金				
同	元利				
小計			金種別		
			100圓		
			10圓		
			5圓		
			1圓		
			50錢		
			10錢		
			5錢		
			1錢		
小計			小計		

注意
 1 科目欄ニハ引去金ノ收納科目ヲ記載スルコト例ヘバ未收金、別途、生計組合(大連)ノ如シ
 2 種別欄ニハ收納スベキ金額ノ性質ヲ記載スルコト例ヘバ生計組合ノ場合ハ石炭代又ハ配給品代ノ如シ
 3 科目ハ同一ナルモ種別ノ異ナルモノハ別欄トスルコト例ヘバ共濟勘定ノ場合立替金、融通金ヲ別欄トスル如シ

B列5 南滿洲鐵道株式會社

○南滿洲鐵道株式會社貨物運賃其ノ他豫納規則

(昭和一四、一一
社告第三九二號)

(規定類纂第二編第三類第二章貨物運送參照)

○官廳ニ對スル諸代金請求方 (大正九、一八號)
(經會第一一八號)

改正 昭和二、一一與取回第一〇一號

鐵道輸送料金並賣炭代金其ノ他ニ對スル諸官廳ノ支拂ハ單ニ金額ノ送付アルノミニシテ當該支拂ノ内容ニ關スル書類ノ添附ナキ場合不尠爲ニ往々受入箇所ニ於テ其ノ引當ニ苦シミ整理上支障アルニ付自今官廳ニ對スル諸代金請求ニ際シテハ其ノ都度左ノ様式ニ依ル附箋ニ各要項記入ノ上豫メ請求書ニ添附相成タシ

(様式)



諸金請求書	請求書 No.
金額	額 ¥
請求先
年月日
何
代

此ノ端箋ハ金額御支拂ノ際在御手數御返送願上候
 追テ本端箋御返送ナキトキハ領收證據行致兼候場合可有之候
 南滿洲鐵道株式會社 經理事會計課

○生計組合物品代金取立方 (昭和四、四、
經會支二七第五號一〇四)

首題ニ關シテハ自今左ノ通取扱フコトニ定メタリ

- 一 在職社員ノ物品代ハ俸給料並諸手當中ヨリ控除取立ノコト但シ尙取立殘額アル場合ニシテ同社員ヘノ賞與金アルトキハ之ヨリ控除取立ノコト
- 二 前號ニ依ルモ社員退職又ハ死亡ノ際尙取立殘額アル場合ニシテ同社員ヘノ返還金アルトキハ之ヨリ控除取立ノコト
- 三 前二號ニ依ルモ尙取立殘額アル場合ニシテ同社員ヘノ退職慰勞金又ハ弔慰金アルトキハ之ヨリ控除取立ノコト
- 四 前三號共其ノ取立順位ハ會社ノ取立又ハ先ニ取立依頼ヲ受ケタルモノノ次位トス
- 五 取立金額ハ直チニ同組合勘定ヘ振込ムコト